

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

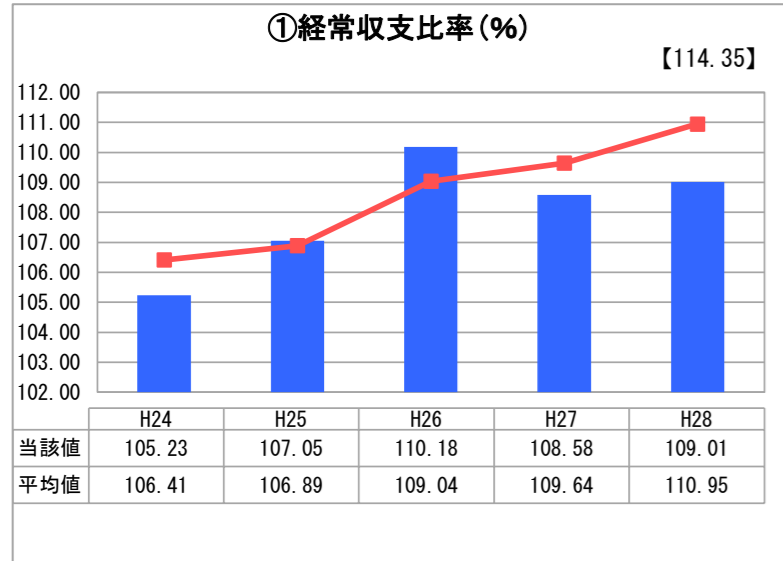
大阪府 熊取町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	81.39	99.20	2,650	

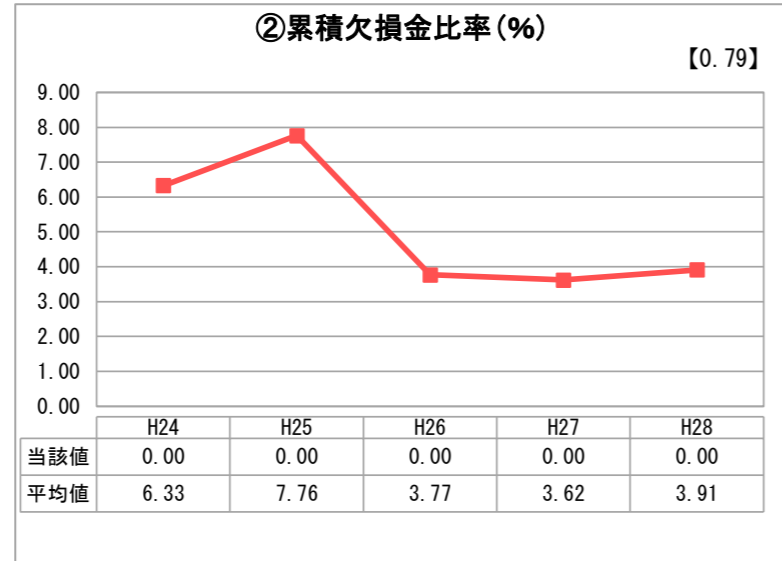
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,034	17.24	2,554.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
43,597	14.00	3,114.07

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

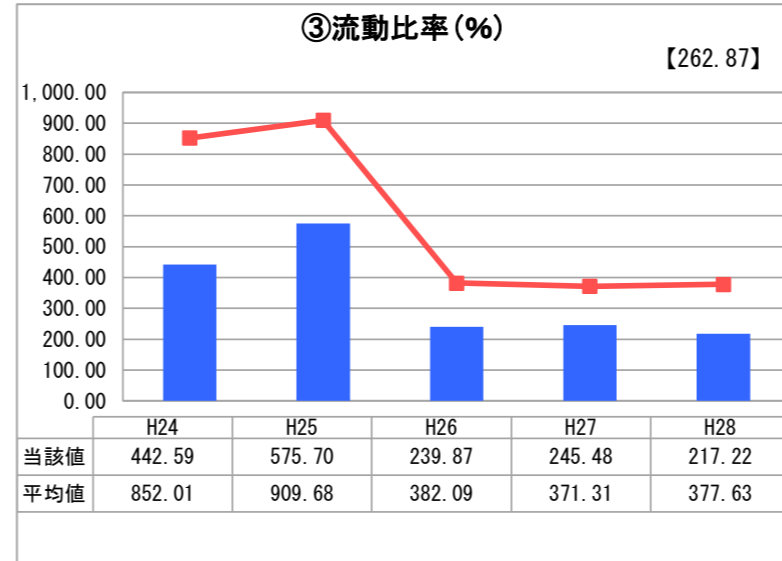
## 1. 経営の健全性・効率性



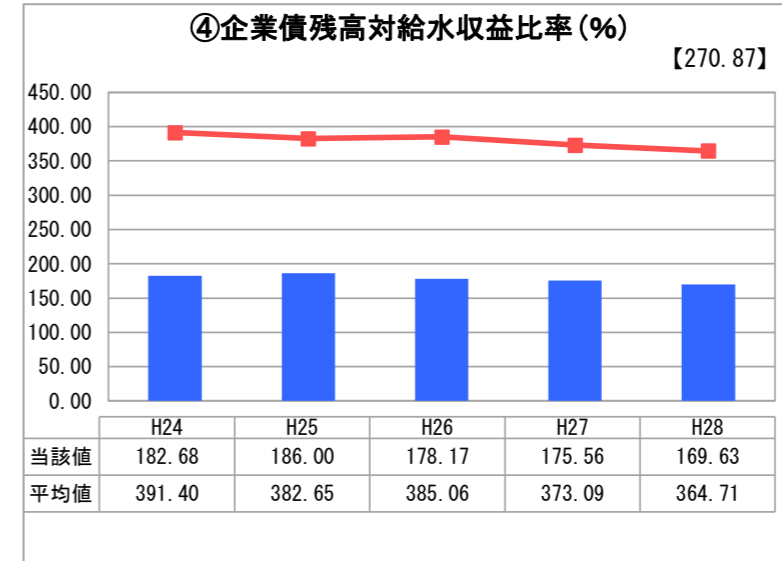
「経常損益」



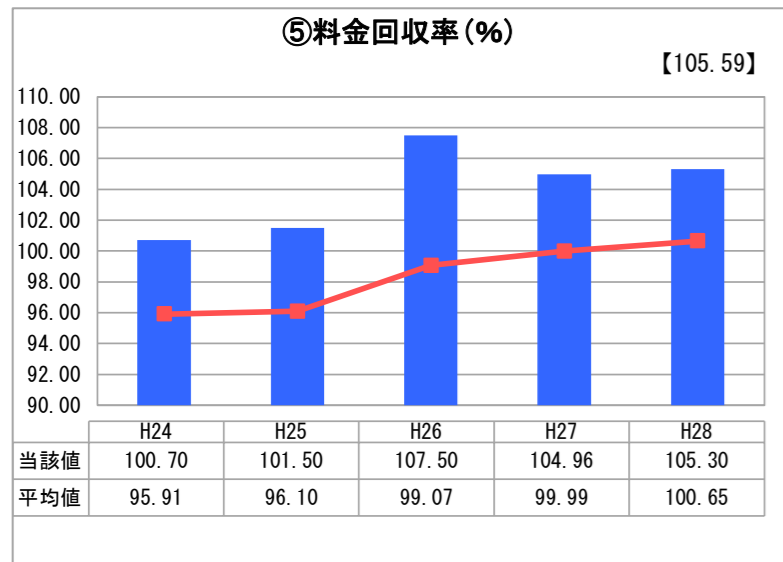
「累積欠損」



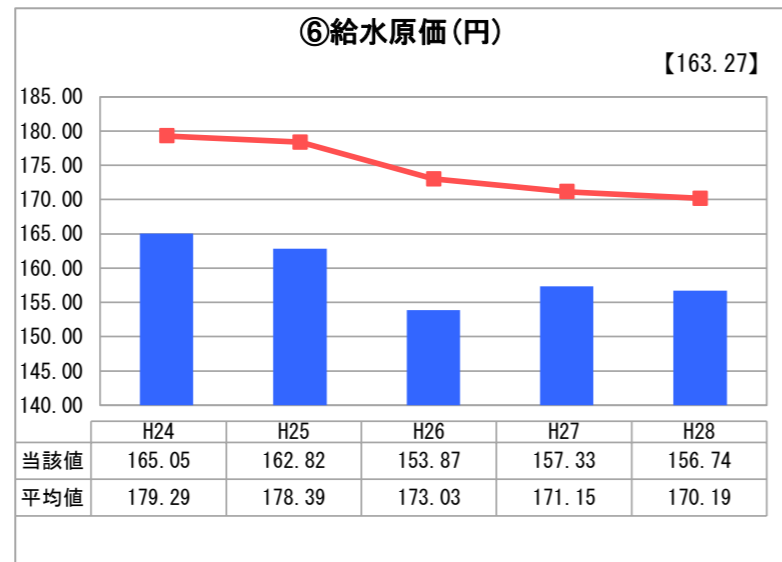
「支払能力」



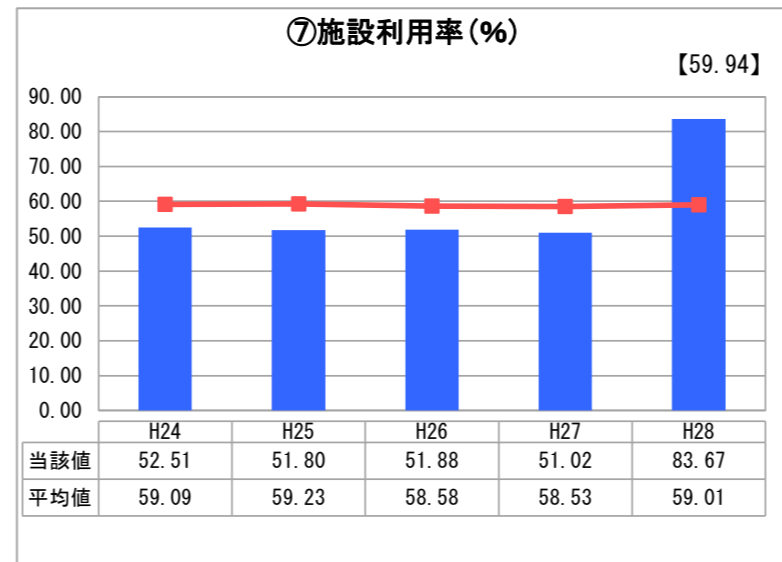
「債務残高」



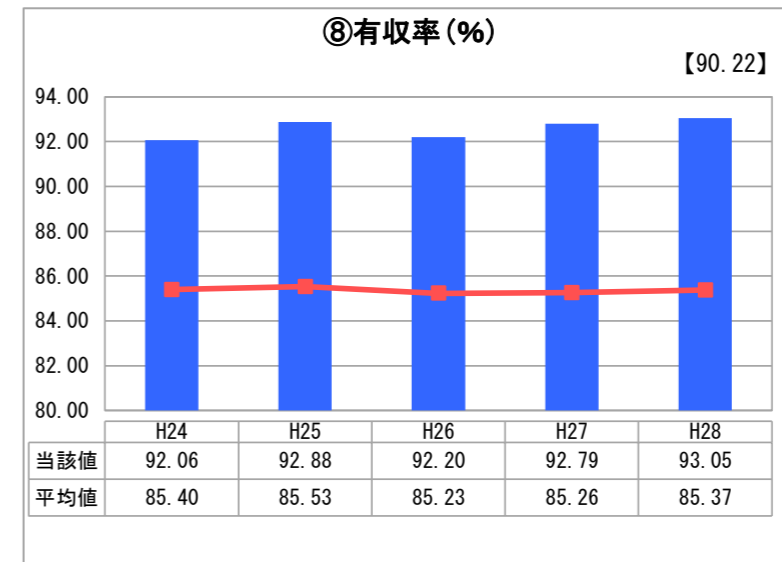
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

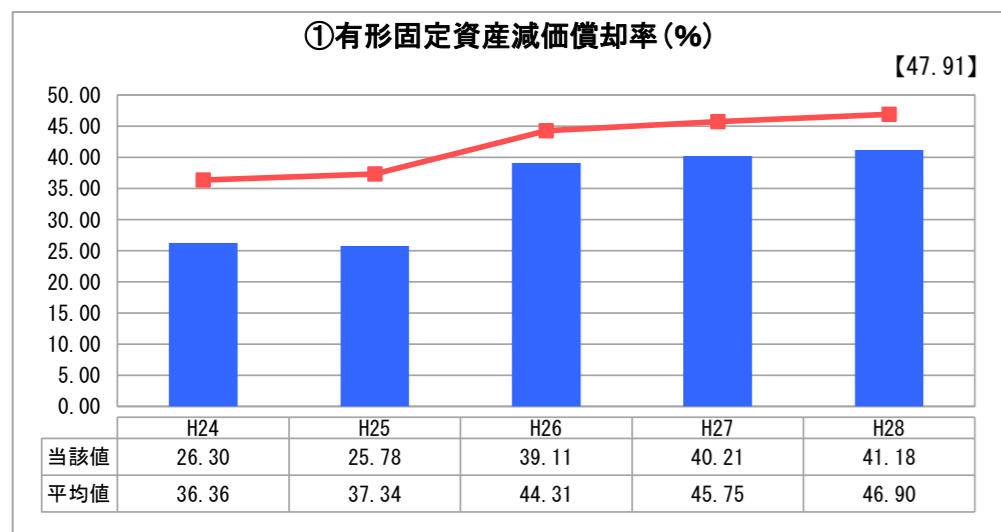


「施設の効率性」

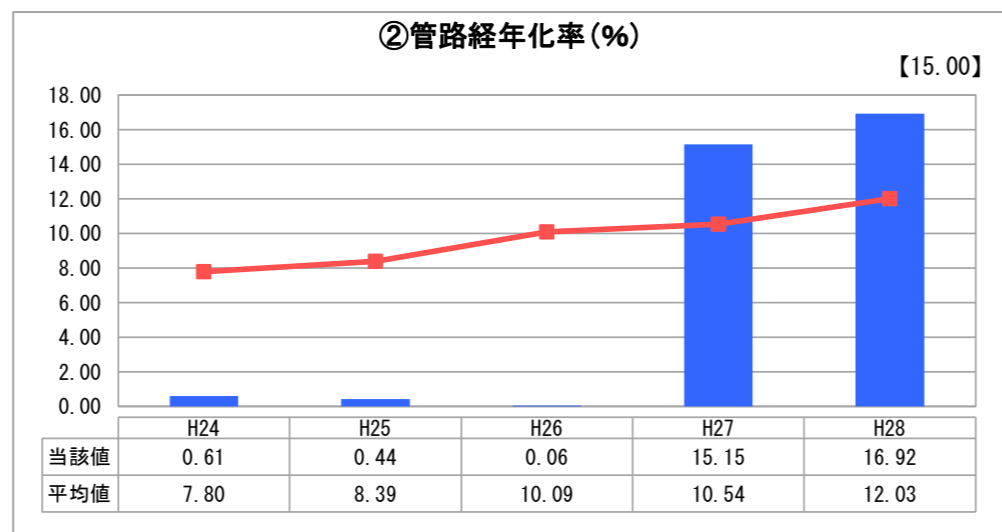


「供給した配水量の効率性」

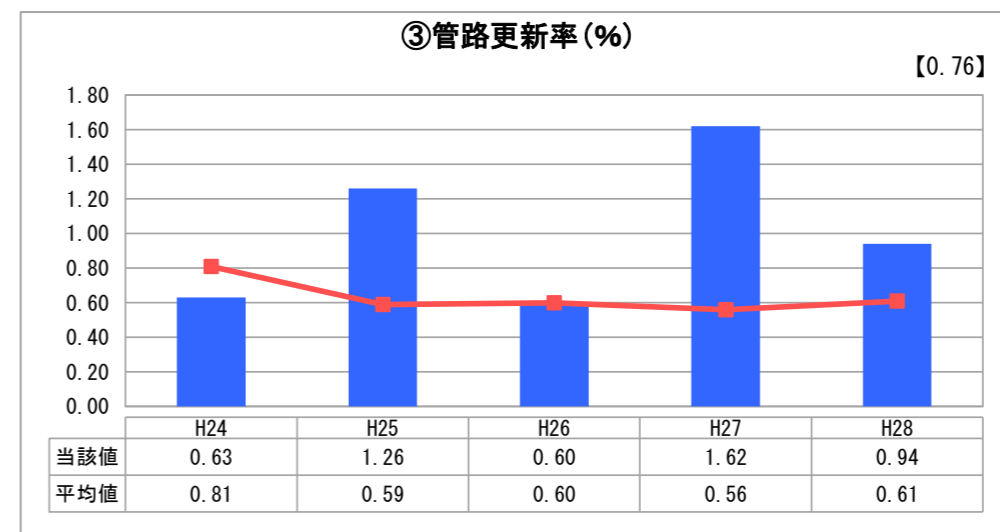
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

③H25からH26にかけて、当該値が減少しているのは、公営企業会計制度の見直しにより、1年以内に償還予定の企業債の表示区分を、借入資本金から流動負債に変更したことが原因である。

⑦H27からH28にかけて当該値が増加しているのは、H28に策定した「熊取町第6次水道拡張事業計画」において、一日配水能力を修正したことによるものである。

### 2. 老朽化の状況について

②H26からH27にかけて当該値が大幅に増加したのは、大規模な住宅開発が40年を経過したことによるものである。

③H26からH27にかけて当該値が増加しているのは、配水塔除却や減圧弁設置等の施設整備がH26に完了し、H27は管路更新を重点的に実施したことによるものである。

### 全体総括

本町の経営は数値からも健全性を確保できているものとする。その上で、今後の改善に向けた取組等については、公平性の確保の観点から、料金徴収の更なる強化に努める。  
H28に策定した「熊取町第6次水道拡張事業計画」に基づき、耐震管の布設替工事を計画的に行い、管路更新率向上に努める。

また、H29に経営戦略を策定し、その中で将来の財政収支見直しを作成するとともに、料金改定の時期の見定めも行った。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。